

櫛平周辺の砂防工事再開に伴い上山式を開催

～能登半島地震の影響で休業中の櫛平周辺の山小屋を支援する黒部市と連携～

黒部河川事務所が発注する櫛平周辺の砂防工事は、能登半島地震により黒部峡谷鉄道の鐘釣橋が被災し現地へアクセスが困難なことから、砂防事業の進捗に影響が生じています。

今年度から関西電力(株)の上部軌道を利用し、黒部峡谷鉄道全線開通後の本格的な砂防工事に備え、仮設工事を再開します。

また、能登半島地震の影響で休業を余儀なくされている櫛平周辺の山小屋を支援する黒部市と連携し、山小屋を作業員宿舎として活用することで工事再開が可能となりました。

つきましては、作業員が6月30日より上山するため、下記のとおり上山式を執り行います。（詳細は別紙参照）

1. 日時 : 令和7年6月27日(金) 15:00～15:20
2. 場所 : 黒部河川事務所 玄関(黒部市天神新173)
3. 主催 : 国土交通省 黒部河川事務所
4. 内容 :
 - 一. 激励：黒部河川事務所長
 - 一. 挨拶：黒部市副市長
 - 一. 決意表明：上山者代表(大高建設(株))
 - 一. 出発車両お見送り

※取材を希望される方は、6月27日14時50分までに黒部河川事務所
駐車場にお越しください。

同時配布

黒部市政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
■ 副所長(技術) 大井 哲哉
Tel : 0765-52-1122(代表)

1. 背景

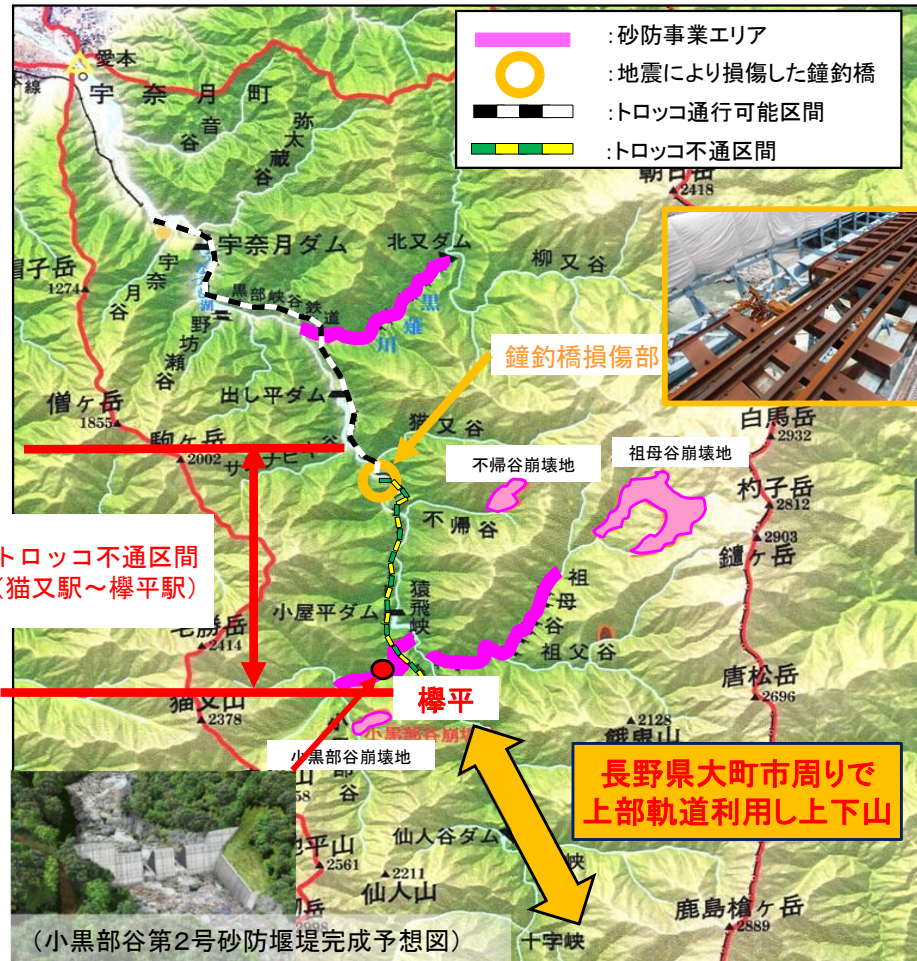
国土交通省黒部河川事務所(以下「同事務所」という)が発注する樺平周辺(小黒部谷、祖母谷)の砂防工事は、能登半島地震により黒部峡谷鉄道(以下「トロッコ」という)の鐘釣橋が被災し、樺平駅まで運行ができないため、昨年度中止しました。

その間、樺平周辺の道路は落石や雪崩等の自然災害により被災・損傷していることから、今後の砂防事業の進捗に遅れが懸念されます(参照:写真-1、2)。

このため同事務所はトロッコの全線開通後、本格的な砂防工事(砂防堰堤のコンクリート打設等)の再開に備え、今年度は仮設工事(道路補修等)を行うこととしました。

現在もトロッコの復旧工事は継続し、樺平周辺へのアクセスは依然困難な状況ですが、今年度は、関西電力(株)のご協力により工事作業員が長野県大町市から上部軌道を利用し、樺平へアクセスすることが可能となりました(参照:図-1)。また、工事期間中における作業員宿舎の確保も課題でありましたが、黒部市と連携し能登半島地震で休業を余儀なくされている樺平周辺の山小屋を作業員宿舎として活用することで、この度工事再開が可能(参照:写真-3)となりました。

仮設工事期間中、作業員は工事完了予定の11月中旬頃まで、月曜に大町市周りで樺平周辺に上山し、金曜に下山する生活サイクルとなります。また、輸送手段が制限されるため、必要最小限の人員・資機材による厳しい条件下での施工となることから、作業員一人一人の安全意識及び士気高揚を図るため上山式を挙行いたします。



樺平周辺道路の被災・損傷状況



写真-1: 大量の積雪により落橋



写真-2: 大量の土砂流出により道路が閉塞



写真-3: 作業員宿舎として活用する名剣温泉

黒部市と連携し、活用が可能に